

Restart 『 令和の八高 』

～ 明日の地域・世界を切り拓く ～



兵庫県立八鹿高等学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます

本校は、1897年(明治30年)、兵庫県簡易蚕業学校として開校し、本年度、130年目の節目を迎えます。多様な教育資源、素晴らしい人材に恵まれたこの地で、但馬地域の後期中等教育の中心的役割を担う学校として長い歴史を刻んでまいりました。校訓「尋師訪友 克己勉励」のもと、地域に根ざす教育を実践し、県内はもとより、国内外の様々な分野で活躍する卒業生を多く輩出しています。

長い歴史を歩むなかで、本校は、地域や時代のニーズに応えるべく様々な変遷を遂げてきました。今年度、令和6年度より新たに設置した「文理探究科」が全学年で揃います。校内での諸活動はもちろん、地域での連携事業、国際交流など、かねてから推し進めてきました探究学習をより一層拡充してまいります。変化激しく予測困難な、そして多様な価値観が尊重される世の中となり、「自ら考え行動する力」がますます必要とされています。八高生の強みである「自治力」に加え、「答えのない課題解決力」＝「探究力」を培う教育活動を、全ての教育活動、学校全体で模索し、地域で、そして世界で実践していく所存です。

さて、令和8年度、あらためて『令和の八高』の始まりです。その Restart のキーワードを『3つのレン』とします。

『連』…校訓「尋師訪友」に倣い、師に学び人との繋がりを大切に、八高の歴史と伝統を連ねていく

『練』…校訓「克己勉励」のもと、自ずからを鍛え磨き策を練って、それぞれの夢へと挑む

『恋』…八高生が恋する八高、地域に好かれる八高、そして皆が愛するふるさと但馬を創る

時代が急速に変化するなか、生徒たちは今ある未来を生きるのではなく、「生きたい未来を自ら創っていく」ことが求められます。諸先輩方が130年にわたって繋ぎ紡いできた歴史と伝統を大切にしつつ、明日の地域、世界を切り拓いていく人材を育てるべく学校づくりに、生徒・職員一同、精一杯努めてまいります。

いつも八高を想い支えてくださる全ての皆様に、改めて感謝申し上げますとともに、引き続き、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年4月1日

兵庫県立八鹿高等学校
校長 小山 朋子